

おきよ祭り日程等（詳細）

Ⅰ. 日 時： 令和7年9月22日（月） 午前4時30分～

◆おきよ祭りの次第

午前4時30分 立磐神社前公園集合

4時35分 始まりの会 （主催者挨拶、教育長挨拶 美小校長挨拶外）

4時45分 立磐神社内において「神事」

4時50分 立磐神社神職による「神武伝説」のお話

5時00分 出発 → 立縫地区一周 → 笹流し（洲の崎）

5時40分 立磐神社前公園集合

5時45分 終わりの会

5時50分 団子づくり体験場所（町並みセンター）へ移動

6時00分 つきいれ団子づくり体験

体験後 試食会

6時40分頃 終了予定

【閑話休題】

おきよ祭りの起源 「神武お船出物語」 （概要版）

その昔、神武天皇は日本の国を治めなければならないとお考えになり、ここ日向の国美々津の港からお船出になり、海路大和への旅に立たれたのであります。

お船出は、旧暦の8月1日の昼と決まり、里人は見送りの準備をしておりました。ところが、風向きや潮の流れが良くなったとのことで、夜半になって俄に暁のお船出に変更されたのです。

驚いた美々津の里人は、「大変だ、ご出発されるぞ。皆 おきよー、おきよー」と言って家々の戸を叩き、起こして回りました。

このことから、旧暦の8月1日（八朔の日）の未明になると、立縫地区（町並み保存地区）では、子供たちが七夕飾りをもって家々の戸を叩いて回る伝承行事が連綿として続いております。

これは、いつの頃から始まったかは定かではありませんが、とにかく古くから行われているもので、これまで一度も中止になったことのない自慢の「祭り」です。

また、そのとき神武天皇に「お団子」を献上しようと準備をしていましたが、急なお立ちで間に合わなくなって、米の粉に煮た小豆と塩を混ぜて蒸し、臼で搗いた早作りの団子である「つきいれ」を差し上げたと申します。私たちはこの「つきいれ団子」をお盆とか八朔の日になると各家庭で作って食べるのが習わしでした。

今でも年1回の食べる慣習は続っていますが、特に観光に来られた方等には「みみつ町並みセンター」において、「お船出団子」として常時提供し、大変喜んでいただいております。